

# 医療センターニュース

編集：三重県立総合医療センター広報紙編集委員会

<http://www.mie-gmc.jp/>

〒510-8561 四日市市大字日永5450-132 TEL (059) 345-2321 (代表)

E-mail: [sogohos@mie-gmc.jp](mailto:sogohos@mie-gmc.jp)

## 「生命(いのち)の駅伝」隊の皆さんが来院されました!



毎年、県内各地を走りながら、がん研究支援への募金を呼びかけている「生命(いのち)の駅伝」隊の皆さんが、今年も6月8日(水)の午後、当院に来院されました。

当院の高瀬院長から、駅伝隊の皆さんに対して、「がんの研究支援への皆さんの活動に心から敬意を表するとともに、当院も北勢地域におけるがん診療の拠点病院としての役割を果たせるよう努力していきます。」との挨拶を行った後、当院のがん診療評価委員会委員長である登内副院長より、院内各部署で集めた募金を贈呈しました。

当院では、今後も引き続き、がんの患者さんに対する集学的治療の提供を行っていくとともに、肺がん等の呼吸器疾患に対する診療体制等の一層の充実、強化に努めていきます。

●集学的治療とは、外科療法(手術)、化学療法(抗がん剤)、放射線療法等を効果的に組み合わせて行う治療のことです。

## 県立総合医療センターの基本理念・基本方針

### 基本理念

- 1 救命救急、高度、特殊医療等を提供することにより、県の医療水準の向上に貢献します。
- 2 安全・安心で互いにささえあう社会の実現に向けて医療面から貢献します。

### 基本方針

- 1 患者の皆様の権利を尊重し、信頼と満足の得られるチーム医療を提供します。
- 2 県の基幹病院として医療水準の向上に努めるとともに、医療人材の育成に貢献します。
- 3 県内医療機関との連携を強化し、地域医療の充実に努めます。
- 4 職場環境を改善し、職員のモチベーションの向上に努めます。
- 5 責任と権限を明確にした自律的・自主的な経営を行います。

## もくじ

「生命(いのち)の駅伝」隊の皆さんが 来院されました!.....1	新任医師の紹介.....3
動脈硬化・血管外来の開設について.....2	持参薬の管理にご協力ください.....3
生活習慣病・糖尿病教室のご案内.....2	当院の協力病院(連携医療機関)紹介 三重県厚生農業協同組合連合会 菰野厚生病院.....4

# 動脈硬化・血管外来の開設について

副院長兼循環器内科部長 牧野 克俊

日本人の死亡原因の第1位はがんですが、心臓疾患や脳疾患、肺炎患者等の一部は、動脈硬化に基づく病状の悪化によって死亡される場合が多く、死亡原因の約1/3は動脈硬化によるものと考えられています。

動脈硬化は二十歳を過ぎた頃から進行が始まり、年齢とともに悪化しますが、動脈硬化によって引き起こされる心筋梗塞や脳血管障害、大動脈疾患等は突然発症することが多く、症状が発生してからでは完治が難しくなったり、手遅れとなったりする場合があります。

したがって、日頃からご自身の血管の状態には常に注意をしておく必要があります。

また、高血圧や糖尿病、脂質異常等は動脈硬化につながる事が知られており、特に、近年、急速に高齢化が進む中で、食生活の欧米化も相まって、動脈硬化性疾患が急増しており、全身血管の監視体制の整備が急務となっています。

そこで、当院では、三重県内の病院としては初の試みとなる「動脈硬化・血管外来」を設置し、地域住民の方の健康維持に貢献していきたいと思っております。

当面は週1回の開設を予定しており、7月4日(月)から毎週月曜日の午前中に紹介予約制で診療させていただきます。

なお、当外来を受診していただくためには、かかりつけ医さんの紹介状が必要となりますので、詳しくはかかりつけ医さんにお問い合わせください。



## 生活習慣病・ 糖尿病教室のご案内

～ 楽しく学ぼう! 生活習慣病! ～

場所：県立総合医療センター7階講堂

時間：14時00分～15時30分

講師：当院医師・薬剤師・看護師・理学療法士・栄養士など♪

開催日	講義内容
【第4回】7月22日(金)	「合併症の予防 神経障害」「飲み物について 血糖値に影響する摂り方していませんか」 「病院のくすりは怖い?怖くない?～インスリン編～」
【第5回】8月24日(水)	「合併症の予防 腎臓の障害について」「外食について 上手に外食するコツとは?」 「検査でわかる合併症」
【第6回】9月21日(水)	「日常生活の楽しい過ごし方」「おやつについて カロリーってご存知ですか?」(サンプル展示) 「座ってできるストレッチ体操」

★1コース6回の研修です。6か月ごとにコースを繰り返します。

どの回からも参加できます。

すべての研修に参加された方には修了書をお渡しします!

★第1回～第3回は終了しました。第7回以降については、日程が決まり次第お知らせします。

**参加費無料!**

【申し込み方法】

内科外来窓口もしくは玄関入口の地域連携課  
「かけはし」でお受けいたします。

連絡先：地域連携課かけはし 059-345-2321(代)

# 新任医師の紹介



当院は、救命救急センターとして、24時間365日体制で重篤な患者に対応する三次救急医療を担っており、高度かつ専門的な治療を提供できるよう、必要な医師の配置や適切な病床管理など、救急患者受け入れ体制の充実に努めています。

このたび、6月1日付けで、救急専門医として山本章貴医師に着任いただきました。

今後も、三次救急医療及び二次救急医療を担う医療機関として、さらなる救急患者受け入れ体制の充実・強化を図っていきます。



山本章貴

所属：救命救急センター  
専門：日本脳神経外科学会専門医、  
日本脳神経血管内治療学会専門医、  
救急医学会専門医  
日本航空医療学会認定指導者  
前任地：三重大学医学部附属病院

## 持参薬の管理にご協力ください

入院される際には、普段使用している薬や薬の入った袋、お薬手帳を必ずお持ちください。

入院後の治療を適切に行うため、持参薬に関する正確な情報を把握する必要があります。

普段使用している薬であっても、手術や検査にあたり一時的に服用等を中止する必要があるものが多く存在します。また、入院後の治療に伴って処方される薬と持参薬との間に危険な相互作用（飲み合わせ）があるかどうかを確認する必要があります。ほかにも、同様の効能を有する薬の重複した処方を防ぐことにより、医療費の削減にもつながります。

安全に治療を受けていただくため、当院で処方した薬に限らず、他院で処方された薬についても確認させていただく必要がありますので、ご理解とご協力をお願いします。

- 持参薬とは、患者さんが当院へ入院されるときに、持ち込まれる普段使用している薬（飲み薬や点眼薬、貼り薬、注射などのすべての薬）のことです。



## 地域医療機関の先生方へ 救急外来への患者さんの紹介についてお願い

救急外来へご紹介いただく患者さんの状態は、一刻を争うことが多々あります。

正確な情報が必要となりますので、地域連携課を通さずに、**代表電話(059-345-2321)**を通して、救急外来担当医師と直接お話しくださいますようよろしくお願いいたします。

# 当院の協力病院(連携医療機関)紹介 第25回

三重県厚生農業協同組合連合会 菰野厚生病院 院長 小嶋 正義



## 診療科目

内科、循環器内科、消化器内科、呼吸器内科、神経内科、外科、肛門外科、小児科、整形外科、リハビリテーション科、脳神経外科、眼科、泌尿器科、婦人科、耳鼻咽喉科、皮膚科、放射線科

## 外来受付時間

8:30	月	火	水	木	金	土	日
11:30	○	○	○	○	○	△	△

## 休診日

土曜日、日曜日、祝祭日、年末年始

## 所在地

〒510-1234  
三重郡菰野町福村75  
TEL 059-393-1212



当院は、人口約4万人の菰野町の地域医療を担う基幹病院として機能特化を図り、急性期から慢性期医療、健診、在宅・福祉部門まで幅広い地域医療ニーズに包括的に応えていくことを基本理念として歩んできました。

機能特化では、特に高齢化に伴って増加する疾病の診療部門の充実を目指し、泌尿器科、眼科の設備整備や医師の増員、内科においても臓器別診療ができる医師を揃え、中でも人工透析部門の拡充を図り、県立総合医療センターさまを始めとする急性期病院との連携のもと、現在約80名の透析患者さんのフォローをさせていただいております。

急性期部門においては、完結的に対応できない部門もありますが、急性期疾患の中でも一刻を争う疾患、例えば急性心筋梗塞や脳卒中に対して、迅速に診断・治療



ができる体制を整備しております。外科においても、低侵襲な鏡視下手術や血管バイパス手術も行っております。眼科では、常勤医師3名で治療を行っており、外眼部疾患、白内障、緑内障、網膜硝子体疾患等、ほぼ眼科全般にわたって対応しています。年間約1,000例の手術実績があり、広角眼底観察システムを用いた白内障手術、眼科ではあまり行っていない眼瞼下垂手術なども出血に

くい炭酸ガスレーザーを使用して行っている点などが特徴です。回復期部門では、平成17年から回復期リハビリテーション病棟を設置し、急性期を脱した血管疾患、大腿骨頸部骨折などの患者さんに対して、日常生活動作能力(ADL)の向上による寝たきりの防止と家庭復帰を目的とした集中的なリハビリテーションを提供しております。豊富なセラピストと病棟スタッフの連携により、少しでも早く、より良くなって頂きたいとの思いで、土日祝日・年末年始も休まず行う365日リハビリテーションを実施しております。併せて介護保険に対応したアフターケア部門の充実も図っており、デイケア、訪問看護ステーション、居宅介護支援事業所および菰野町から委託を受けて地域包括支援センターを併設し、医療だけでなく介護サービスまでをシームレスに提供できる体制を整備しております。また、地域住民の方を対象とした啓発活動にも力をいれており、病院内で年6回「いきいき健康講座」を開催しておりますので、お気軽にご参加ください。

患者さんが受ける医療は高質・均質でなければなりません。地域に根ざした医療を通じ、心のふれあいを大切に、当院の理念である「愛され信頼され選ばれる病院」となるよう、努めてまいります。